都市緑花センター 掲示板

当センターでは、花や緑の知識を高める講座、植物素材を使ったクラフト教室、健康づくり教室、休日を満喫できるフェスタなど、多くのイベントを開催しています。

公園イベントカレンダー

新潟県内にある県立公園等で行われるさまざまなイベントを紹介します。詳細については、各公園事務所や主催者へ直接お問い合わせください。

お問い合わせ先

新潟県スポーツ公園	
鳥屋野潟スポーツ公園事務所	TEL.025-286-1080
デンカビッグスワンスタジアム	TEL.025-287-8811
ハードオフエコスタジアム新潟	TEL.025-287-8900
新潟県立植物園	TEL.0250-24-6465
新潟県立大潟水と森公園	TEL.025-534-6190
新潟県立鳥屋野潟公園 鐘木地区	TEL.025-284-4720
新潟県立紫雲寺記念公園	TEL.0254-41-3740
新潟県立奥只見レクリエーション公園 響きの森公園(小出)	TEL.025-792-8291
八色の森公園(浦佐)	TEL.025-780-4560

2018年1月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
	1	2	3	4 ~2/18(日) にいがたの花 アザレア展	5 水中エクササイズ"冬"	6 季節のクラフト
7	8	9 太極拳教室	10 健康エクササイズ 潟来さんぽ	11	12 エコスタヨガ教室 水中エクササイズ"冬"	13 週末らくらくウォーキング教室
14 新春フェスタ2018 バードウォッチング	15	16	17 健康エクササイズ	18 雪遊び!雪でお菓子作り	19 水中エクササイズ"冬"	20
21 プチ節分飾り作り 野鳥観察会	22	23 太極拳教室	24 健康エクササイズ	25	26 水中エクササイズ"冬"	27 ガイドウォーク
28 雪あそびまつり	29	30	31 健康エクササイズ			

2018年2月

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2 エコスタヨガ教室 水中エクササイズ"冬"	3
4 花散歩 ガイドウォーク 小出国際雪合戦大会	5	6	7 健康エクササイズ 潟来さんぽ	8	9 水中エクササイズ"冬"	10 週末らくらくウォーキング教室 季節のクラフト
11 太極拳教室 冬芽観察会	12	13	14 健康エクササイズ 花散歩	15	16 水中エクササイズ"冬"	17 アロマグッズづくり
18 潟育イベント 潟の生き物発表会	19	20	21 健康エクササイズ	22 親子でいっしょに味噌作り	23 水中エクササイズ"冬"	24 ひな飾り作り
25 木の実のひな人形づくり	26	27 太極拳教室	28 健康エクササイズ			

EVENT イベントピックアップ PICK UP

冬も楽しい!大潟水と森公園

雪あそびまつり

雪玉まとあてゲーム、雪だるまづくり、クイズラリーやちんころづくりが楽しめます!

●期日:平成30年1月28日(日)
10:00~14:00
(要参加費)

お問い合わせ 大潟水と森公園事務所 ☎025-534-6190

雪あそびまつり

新年は彩りあふれる植物園へ!

新潟の花 アザレア展

新潟の花アザレアが、温室いっぱいに咲き誇ります!

●期日:平成30年1月4日(木)~平成30年2月18日(日)
入館料 有料

お問い合わせ 新潟県立植物園 ☎0250-24-6465

アザレア展

新年もビッグスワンスタジアムで楽しもう!

新春フェスタ 2018

フリーマーケット、スタジアムツアー、ステージショーなど楽しいイベントがいっぱい!

●期日:平成30年1月14日(日)
10:00~15:00
入場料 無料

お問い合わせ デンカビッグスワンスタジアム ☎025-287-8811

新春フェスタ 木工教室

思い出いっぱい!紫雲寺記念公園!

第5回フォトコンテスト in紫雲寺

"紫雲寺記念公園での素敵な思い出"がテーマの写真コンテストです!どしどしご応募ください!

●応募締切:平成30年2月28日(水)

お問い合わせ 新潟県立紫雲寺記念公園事務所 ☎0254-41-3740

●グリーンスケッチは県関係機関、各市町村、図書館、病院などで配付しています。直接送付をご希望の方はご連絡下さい。

公益財団法人 新潟県都市緑花センター
〒950-0933 新潟市中央区清五郎58番地 URL http://www.greenery-niigata.or.jp

情報誌に関するご意見・お問い合わせは
新潟県立植物園 緑化推進課
〒956-0845 新潟市秋葉区金津186
TEL.0250-24-6465 FAX.0250-24-6410

花と緑の情報をお届けします

take free ご自由にお持ちください

Green Sketch グリーン・スケッチ

2017年冬号 No.65

TOPICS

○植物と親しむ 特集❷
「ミニ盆栽」
手のひらサイズの『和』の世界

○読者の広場
○都市緑花センター掲示板

平成28年度はなみどり写真コンテスト モバイル・デジタル部門 入選 ヒロくん「ワンちゃんもポーズ」 撮影地/新潟県立奥只見レクリエーション公園[道光・根小屋地区]

植物と親しむ特集❷

「ミニ盆栽」手のひらサイズの『和』の世界

雪化粧した山々や街並みが日常の風景になり、いよいよ本格的な冬に突入しました。こんな季節になっても、まだまだ屋外で緑色に色づいている木々を見ると、なんだか自然のエネルギーを感じますね。そんな力強く、美しく色づく木々を探しに、屋外へ出かけるには、新潟の冬は少し厳しく、二の足を踏んでしまいます。そこで今回は、そんな緑を屋内で楽しめる不思議な存在感とかわいさ、そして、緑のエネルギーをあわせもった「ミニ盆栽」を紹介します。

ミニ盆栽の魅力や作り方については、新潟でのミニ盆栽づくりの先駆者である、高橋星児さんにお話を伺いました。

ミニ盆栽

「盆栽」は、おそらく多くの方が見たり聞いたりしたことのあるものだと思いますが、「ミニ盆栽」はどうでしょうか。高さ20～30㎝程度、植付ける鉢は直径10㎝程度。まさに手のひらサイズくらい。通常の盆栽との大きな違いであるこのサイズが、独特の存在感とかわいさを生み出しており、和風な空間だけでなく、洋風な現代家屋などにも溶け込める小さなインテリア。それがミニ盆栽です。

雲竜椿のミニ盆栽

様々なミニ盆栽

こんな道具を使います

まずは、ミニ盆栽づくりに必要な道具の紹介をします。道具といっても、植え込みのためのものから、お手入れの道具まで、たくさんあり、高橋さんが使用している道具もとてもたくさんあります。

高橋さんが使用している様々な道具

これからミニ盆栽の世界へ一歩踏み込んでみたいという方には、さすがにそこまで準備することは難しいので、まずは以下の道具があるとよいとのことです。

・ハサミ(枝きりバサミとさつきバサミなど。2種類くらい)
・ピンセット ・ペンチ ・針金きり ・竹ぐし ・切り口をふさぐお薬

この他にも、コブ切りや幹割のためのハサミなど、盆栽づくりにはお馴染みの道具があるとのことですが、そこまでは、初めは必要ないとのことです。ちなみにですが、枝きりなどの少し特殊なハサミは、ぼんさい屋ときさんで手に入ります!

植物選び・軽くお手入れ

さて、初めに、植物選びです。今回は、クロマツを題材にしていただき、ミニ盆栽づくりを進めます。クロマツは、お正月など、時節のイベントに合う植物であり、常緑樹であるので、この季節にも楽しめることからこれを選びました。植え込みは、本来は春先に行うのがよいのですが、問題ありません。

植物選びが終わったら、つぎに、葉の手入れをします。色が悪くなった古葉を、ピンセットなどを使いながら、きれいにとっていきます。この作業をしっかりやっておくと出来上がりがとってもきれいになります。

古葉を取り終えたもの

先生からのワンポイント

鉢に植えこんでからでも古葉などの手入れはできるのですが、鉢に植えこむ前であれば、上下左右自由に植物を動かせるため、細部までしっかりと見ることができる、この段階でやることがおススメです!

鉢選びと植え込みの準備

次は鉢選びです。鉢選びを先に行ってもよいのですが、植え付ける植物の手入れをした後で選ぶ方が、実際の植えられている様子などを想像しやすいので、この順番で進めています。一般的には、クロマツなど、「松柏類(しょうはくるい)」と呼ばれる植物には、釉薬(ゆうやく。焼き物をするときに器などの表面にかける液体状の薬品。独特な模様が器に描かれる)が掛かっていない、落ち着いた色のものを合わせるとよいです。ちなみに、高橋さんは、一般的な基準に沿って、鉢を合わせるとのことですが、さらに鉢と植物の組み合わせを考えるときに大切にしていることは組み合わせによって生まれる「かわいさ」とのことでした。

そして、鉢を選んだら、鉢に網を取り付け、そこに植物を固定するために使うアルミ線をつけます。

落ち着いた色の鉢

アルミ線を通した鉢

植え込み

いよいよ植え込みです。先ほど手入れしたクロマツをポットから取り出し、土を落としながら、根をほぐします(①)。この際に、マツの類は既存の土を落としすぎないように注意します。これは、マツの根の生長を促進する菌がその土の中にいるためです。そして、選んだ鉢の中へ入れ、みせる方向を決め、あらかじめ用意しておいた固定用のアルミ線で鉢にしっかりと固定します(②)。そして、鉢底に水はけを良くする鉢底砂(今回は十和田砂を使用)をいれ、桐生砂、赤玉土の混合用土で植え付けます。この際に、根の間にもしっかりと土を入れ込むため、竹ぐしで刺しながら、土を入れるのがコツです(③)。

①

②

③

最後はやっぱり「水」!

しっかりと土を入れ終えたら、最後は水やりです。水をたっぷり入れたバケツに、どっぷりと、静かに鉢ごとつけましょう。そして、鉢底から抜け出る水が濁らなくなるくらいまでやります。これは、水やりだけでなく、土と土との間に残っている細かい土を除去するためにも行います。それが残っていると、後にこの鉢の水はけが悪くなるので、この作業をはじめにしっかりとやっておくと、水はけのよい土になります。これで完成です!今後は、乾いたら、同じように水やりを行い、古葉などを取り除いて、屋内で楽しみましょう。

編集後記

手のひらサイズの和の世界。とってもかわいらしくて、魅力的ですよね。写真ではなかなか伝わりづらいかもしれません。ですので、実際に目で見て、手に取って、その存在感を感じてほしいので、今後、様々な場所で、ミニ盆栽づくりの講座を実施します!さらに、高橋さんのお店でも、今後、体験講座を予定されているとの情報を伺いました!緑花センターやぼんさい屋ときのホームページなどにご注目いただき、ぜひともミニ盆栽をじかに感じてみてください!

本日の先生

ぼんさい屋とき(代表)
高橋 星児さん

取材協力

ぼんさい屋 とき
新潟市江南区松山112-4
営業時間:11:00～18:00
定休日:月曜日・火曜日
TEL:050-3748-2992
HP:https://www.bonsaiyatoki.com/

読者の広場

皆様からお寄せいただいたご意見・ご感想を紹介します!64号に引き続き、「現在、花を育てていますか?」というテーマで伺ったものを紹介します!

グリーンスケッチのバックナンバーはホームページでもご覧いただけます。
バックナンバーもぜひご覧ください。
http://www.greenery-niigata.or.jp/gs/index.html

野菜作りで始めた家庭菜園が<妻の強い希望>で花がメインになってしましました。

comment
花がメインになってしまったことについては、なんだか嬉しい気持ちもあります!少し視点を変えると、実は野菜もきれいな花を咲かせますよ!しっかりと収穫を楽しむことと、花の彩りを楽しむことは決して共存できない思いではないです!ご夫婦で楽しめるお庭になることを願っています!

高校生の時、あこがれの先生が好きだとおっしゃったシャクヤクの花を自宅の庭から摘んで教務室に届け、とても喜ばれたことが甘酸っぱい思い出。今年もお庭のシャクヤクがきれいに咲きました。

comment
誰かを喜ばせたいという思いに花が活躍したというお話、とっても素敵です!また、それが憧れの方に喜ばれたのは本当に素敵な思い出ですね。今年もきれいに咲いたシャクヤクがたくさんの方に喜ばれるといいなぁ。

シャクヤク:潮騒

バラを育ててましたが、枯れました。。。

comment
個人的にバラが大好きなので、バラのお話、目に止まってしまいます。バラは手間がかかるという印象がありますが、逆に考えていただくと、手をかければかけるほど、華やかに、美しく咲いてくれます。一方で、なかなか枯れない、強い一面も持っています。あきらめずにぜひまたバラを育ててもらえると嬉しいです!

バラ:パパメイアン